

大分県が目指す
地域とともにある学校

実現に向けて①
学校運営協議会

実現に向けて②
地域学校協働活動

取組事例

各立場がすべきこと
大切な視点

取組概要

- 日出町立豊岡小学校では、地域・保護者の方による学習支援ボランティア活動「スクール・アシスタント(SA)」を通じて、学校と地域が協働した取組を実施している。
- 令和5年度は、延べ約630名の方がSAに参加、その仕組みとは？

I 学校運営協議会の組織

学校運営協議会

■ 構成員

- 地域代表
- 保護者代表
- 地域学校協働活動推進員
- SAコーディネーター
- 校長、教頭、CS担当教員 等



学習支援部

環境整備部

学校安全部

- 学校運営協議会の中に3つの部会を設置
- 各部会には、CS委員と学校の職員が所属

スクール・アシスタント (SA)

■ SAとは？

- 地域住民・保護者などの外部講師が行う無償のボランティア活動



■ R5登録者数108名

<内訳>

- 保護者
- 元保護者
- 地元の大学生
- 地域の方

■ 主なSA活動

- 学習支援
- 清掃指導
- 各種活動補助
- 県立図書館から本の借入れ

II 協働 (SA活動) の仕組み

■ 始めるにあたって

【4月上旬】地域住民、保護者への勧誘

- 案内文書
- 地区回覧板
- PTA総会
- 口コミ 等



【5月中旬】学校にSA登録を申込

- 申込みと同時に、ボランティア活動保険に加入

【6月上旬】「SA説明会」を開催

SAに係るお願い (連絡事項)

- 参加、不参加は自由 (できる時にできる人が)
- 秘密を守る
- 募集はメールで連絡
- SA活動は無償
- 退会はいつでもOK



■ 依頼の流れ

- 「SAさん依頼票」を作成し支援を要請
- 要望を受けてSAに活動を要請
- 活動後はアンケートを提出



SAさん依頼票

- ① 期日 ○月○日
- ② 活動内容・学年
- ③ 活動時間 ●時～●時
- ④ 希望SA人数

- 学校は、SAアンケートを学校便り・HPにてフィードバック

<アンケートの声>

- 初めて算数の丸付けに参加しました。私自身も子どもの勉強をもっとよく見て、一緒に勉強しようと思います。